

## 「震災遺構」に関する市方針

## ■大川小学校旧校舎

## (1) 保存の意義

- ①東日本大震災の教訓を後世に語り継ぎ、  
防災・減災につなげることができる防災  
教育の場
- ②多くの犠牲者を悼む慰霊と鎮魂の場



&lt;2015年（平成27年）9月10日撮影&gt;

●このことから、大川小学校旧校舎は、震災伝承のための防災教育や慰霊・追悼を行う重要な場所です。

## (2) 保存の考え方

●校舎は、全体を保存することとし、周辺については、慰霊・追悼の場としての環境整備を行います。

- ①防災・減災に繋げることでできる「防災教育の場」として保存するとともに、震災の教訓を後世に語り継ぐため、語り部等との連携を図ります。
- ②校舎の保存手法は、校舎には手を加えず、事故防止のための安全対策（柵など）を行います。
- ③慰霊・追悼の場としての環境整備や旧校舎保存のあり方については、地域住民との協議を続け、その内容を決定します。

&lt;校舎平面図&gt;

